

過熟社会における酪農場と草地開発の視点(その2)

篠原 功 (酪農学園大学)

酪農場の未来スケッチ

—シビルミニマム・シビルバランス—

結論：職住分離が酪農場勤労者の未来を拓く。

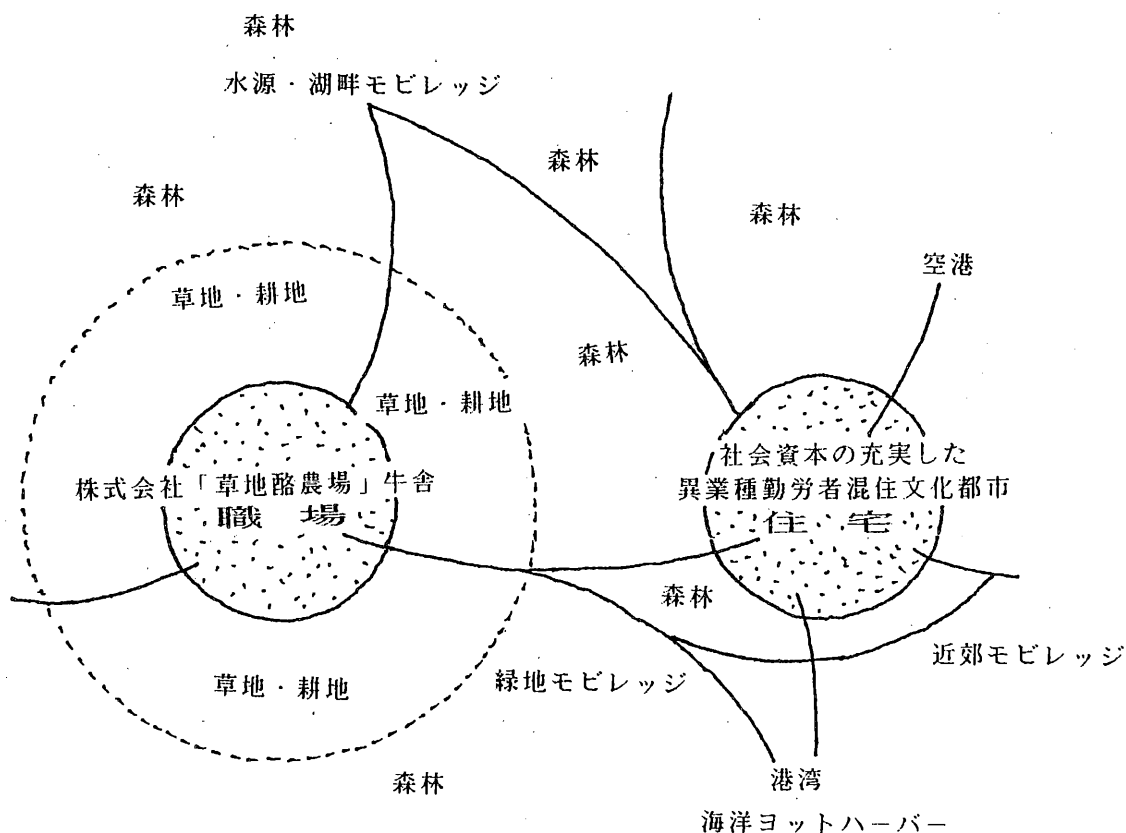


図1 酪農場の未来学・ランドマネージメントモデル(篠原試案)

参考文献

- 1) 篠原 功, 1986, サンガ(Sangha)を超えて, 今, 日本随筆文庫全集2, 216-273, 近代文芸社文庫(東京)
- 2) 篠原 功, 1987, 二十一世紀の緑地都市, 暮らしのサイエンス№3, 70-73, 酪農学園出版部(野幌)
- 3) 篠原 功, 1989, 過熟社会における酪農場と草地開発の視点(その1), 北海道草地研究会報23: 117-119